

みその公園(文化体験施設に限る。) 令和5年度事業計画書

(事業計画書様式1)

1 施設概要 (※維持管理水準書1ページや個別仕様書などを参考に記入してください)

文化・自然体験施設名	みその公園
所在地	横浜市鶴見区獅子ヶ谷 3-10-2
公園面積、公園種別	5028 m ² 歴史公園
主な施設	主屋、文庫蔵、蚕小屋、表門穀蔵
特徴	屋敷構えが江戸時代の農村生活の原風景を残している
公園開園日	平成元年 11 月 18 日 市指定文化財第一号です

2 指定管理者概要

指定管理者名	みその公園「横溝屋敷」管理委員会
代表者名	会長 小山和雄
所在地	横浜市鶴見区獅子ヶ谷 3-10-2
指定管理期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成23年4月1日

(事業計画書様式2)

1 文化・自然体験施設の管理運営にあたっての基本方針

管理運営あたっての基本方針

横浜市でも数がすくない歴史公園として、市民に親しまれる文化遺産として、市民に開放しつつ、横浜市公園条例に基づきながら、江戸時代から続く「横浜農村生活館 みその公園 横溝屋敷」の保全に努めます。

・古民家に残る農機具の保全や稲作コースによる伝統的な田植えから収穫による古民具を使つての環境に対するSDGsの理解と、生きた生活の知恵を伝承しつつ体験活動を推進する。

また、文化講座・文化交流事業の実施を進めて、古来より伝承される四季ごとの催事や行事・生活様式の工夫等を現在に再現し、先人の知恵や努力の跡を懐古するとともに、先人の知恵や努力を後世に伝承する。

・建物周辺の自然景観保全維持活動に努め、農家の庭にふさわしい樹木の管理、景観の維持に努めます。

・横浜農村生活館 みその公園 横溝屋敷管理運営委員会は、これまでの知見や経験を活かし、現代社会のニーズにあった活動に努め、地域の市民、NPOなどと協働・連携を行い、効率・効果的に、管理運営を推進します。

・地域住民や市民の誰もが当施設の見学や行事等への参加を可能とし、オープンスペースとしての活用に努めます。

2 運営業務の実施計画・取組

・地域に伝わる年中行事は季節感を味わうだけでなく先人の知恵や努力を懐古し、知恵や努力を後世に伝える役割(田植え、鯉のぼり、七夕、豆まき、ひなまつりなどの季節の行事の体験できる場の提供できる場所として行事を推進する)

・稲作 五郎兵衛教室<稲作コース>

稲作の田植えから収穫祭まで行う。親と子の共同作業を行い、農業体験を通して「食の大切さ」を学び、稲の収穫に必要な農器具の体験をし、稲作から収穫までの先人の知恵を知る。機械を使わない農耕を体感し、環境に配慮したSDGsを理解する。

・2027年横浜市国際園芸博に向けて、国際園芸博のメインテーマでもある「幸せを創る明日の風景」地域に花を！テーマに「花かご会」や「たねだんご」の講習を実施し、来所する方の参加をしやすくし、花やみどりで地域に広がる事業として新規事業を行う。

・文化財第一号なので、防災訓練を9月と1月に実施。

9月には親子で参加しやすいAED体験会

1月には駒岡消防出張所と協働で本格的な防災訓練

・地域では食として、蕎麦が食されていた、新そばを食べる行事。

・美食会・ひな祭りは、楽しめる音の響きの良い横溝屋敷ならではの音楽の祭典を行う
美食会(おぼんざいを使ったお弁当と詩吟のコラボ)

ひな祭り(ひな祭りとミニコンサートによる音楽との共演)

3 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

来館者が安心して訪れることが出来る管理体制

職種	役割
事務局長1名 副事務局長1名	責任者 全体の総括、スタッフへの指導、事務・会計処理
運営スタッフ 5名	清掃業務、庭園の除草・草花管理、展示品清掃・管理
協力者(ボランティア含む)15名	庭の整備、小修破修理、田んぼ管理等 畑の管理

(2) 勤務体制

職種	主な業務	月	火	水	木	金	土	日
事務局長	管理・事務		○	○		○	○	○
副事務局長	管理・事務	○			○		○	○
スタッフ①	清掃作業		○					
スタッフ②	清掃作業			○		○		
スタッフ③	〃							○
スタッフ④	〃	○			○			
スタッフ⑤	〃						○	

(3) 人員体制の考え方・職能等

- ・スタッフはローテーションにより週2日程度勤務
- ・スタッフの体制は、土、日、祝日は入園者増により2人体制に応援スタッフを考慮
- ・事務局長指定休（月曜日、木曜日）土、日、祝日は入園者増に対し勤務
- ・副事務局長指定休（火曜、水曜）週四日勤務、土、日、祝日は入園者増に対し勤務
- ・スタッフは1日の仕事の手順に従って行き、日報も記載すること
- ・副事務局長は、横浜市との連絡、対外的業務等、事務局長の補佐をするとともにHP、Facebookの更新管理を行う
- ・畑・田んぼの管理は稲作指導員制があり登録者10人事務局との話合いで行う
- ・不特定日協力者により、トヨ掃除、庭木の管理、小修破修繕を行う
- ・事務局員は、木々の植物の維持管理を行い、スタッフに協力を求め実施すること

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

人材確保及び人材育成

- ・ スタッフは、少数精鋭にて公園管理を行う。
- ・ スタッフの資質を見極め、バランスの良い年齢層を目指しています
- ・ スタッフの中には色々な能力を持った人がいるので、それぞれの能力を生かして業務を計画的に行う
- ・ 障子 108 枚、年間計画を立て張替え計画
- ・ 庭の植栽、草取りの計画を立て実施
- ・ 屋敷畑、田んぼの管理も計画的に行う
- ・ 主屋、蔵などの清掃管理も計画的に行う
- ・ 自主点検は事務局長が毎日行う
- ・ 必ず日報を書き、事務局として管轄の北部公園緑地事務所に月報として報告する

研修計画

- ・ 人権研修 講師を招き年 1 回行う
- ・ 接遇研修 トレッサ横浜の担当者に依頼し年 1 回行う
- ・ 植栽・畑などの研修 協力者で植木職の人や地元の農家の人に協力を得る

各研修終了 年度報告書で公園事務所に報告する

AED の操作方法は消防署職員講師研修

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

- ・施設の歴史的価値を活かし、また地元につながる伝統行事を後世に伝える事業(親子そば打ち/七草を知ろう!/豆まき/ひなまつり)を行う。
- ・アンケートの実施より、評判が良く続けてほしいとの要望の強い稲作コース(田植えから収穫祭まで)を実施する。
- ・文化財である建物を保存、また後世へと伝えてゆきたい。防災訓練を実施する。
- ・子どもまつりでの昔あそび、短冊に願いをこめる七夕まつりなど先人の思いを伝える七夕かざりの行事の開催。
- ・市内小学生が毎年30校くらい見学に見える。体験学習の場であり、昔の暮らしを紹介先人の知恵を子ども達に伝えて行きたい。
- ・土日の見学者に向け、喫茶等で飲み物の提供を考える(主屋の雰囲気合うハーブティーなどを検討中)

2 広報・プロモーションの取組

- ・広報よこはま鶴見区版を活用し、イベント情報の掲載で新規の利用者の参入機会を増やす
- ・HP・フェイスブックなど若者が利用しやすいよう事業の紹介をする
- ・独自のチラシを作成、自治会などの掲示板に掲示し、地域の活性化を図る
- ・地方紙に掲載、新聞、地元テレビ局への呼びかけ紹介をお願いする
- ・トレッサ横浜のHPに原稿を送り、掲載をお願いする
- ・鶴見区-活動・学習活動情報誌「あぶりお」にイベントなど情報を掲載の依頼をする。

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

(1) 市民協働

①トレッサ横浜との共催の取り組み

2月3日豆まき、8月中旬盆踊り大会、9月中旬お月見・竹とうろう
他のイベントのHPへの掲載、駐車場利用にも協力的

(2)市民主体の活動の支援、地域人材育成

- ・鶴見川ネットワーク団体と協力。スタンプラリーの拠点
- ・夏休み水族館事業(水辺の生き物観察)
- ・地域の婦人部の方々と協力、郷土料理の会
- ・消防署との協力、防災教室

4 災害時の緊急対応

・日常、自主点検を実施する。
 ・1月26日文化財防火デーに駒岡消防署と消防団で協力し、本格的な防災訓練を行います。スタッフ一同参加し、消防活動訓練を体験する。
 ・警備会社と契約し24時間体制で警備を行っている。

◎みその公園「横溝屋敷」管理委員会 地震防災応急対策本部

総括 会長	→	情報収集連絡	副会長 2人
本部長 事務局長	→	避難誘導	事務局員 3人
	→	応急救護	管理委員 6人
	→	安全点検	管理委員 2人

5 安全対策・防犯対策

・施設及び設備の自主点検を毎日行い日誌に記載する。
 ・事故・犯罪などを予防する為鶴見警察に1日1回の見回りをお願いする。
 ・「交番の日」を設け、警察と協力し合い、安心・安全の為のイベントを行う。
 ・事故・犯罪が発生した時は、直ちに110番通報し、北部公園緑地事務所へ連絡する。
 ・AEDを設置
 ・防犯カメラ等は令和2年より設置し、京浜警備保障にリース契約にて継続中。

6 苦情・要望への対応・不法行為対策について

・苦情・要望は、関係各所・北部緑地公園事務所と連携し速やかに対処する。
 ・利用者アンケートを実施、イベント参加者からの意見を聞く機会を設ける。
 ・意見の投書箱を設置する。

7 本市の重要施策を踏まえた取組・個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

・横浜3Rプランに協力し、ゴミはルート回収に参加している。
 ・鶴見区役所主催の個人情報保護・人権研修会に参加をスタッフに促す。
 ・横浜市YES協働パートナーの会員で環境保護イベントとして盛り込みたい。
 ・障害者施設の方々の見学も多く、スタッフ一同丁寧なおもてなしを心掛けている。

(事業計画書様式4)

1 文化・自然体験施設の維持管理の基本方針

- ・有形文化財第一号としての誇りを持ち、訪れた人々の見学場所として建物を清潔に保ち、生活感のある場所を維持していきたい。
- ・歴史的建造物が立ち並び庭や屋敷畑・田んぼもあり、この全体のバランスを保ちながらゆっくり憩える場所にしたい。

2 文化・自然体験施設の施設(建物等)・設備の維持管理

- ・建物の内部(柱・天井・壁)などの点検、修繕を怠らず、破損の場合の公園事務所への速やかな連絡を心掛ける。
- ・照明器具は順次 LED へ変更
- ・障子 108 枚は年間計画で行う。
- ・毎日自主点検記録表により点検を行う。
- ・建物・庭の清掃はコロナ対策と共に毎日行う。

3 樹木・植栽等の管理

- ・庭・中庭の植栽については毎日水やり、木の点検・管理
- ・市民に人気のある植栽計画、古民家に合う植物を選定する。
- ・田んぼは人気があり、田植えから収穫まで周辺の管理も行う。
- ・草花に名札を付ける。

4 巡視・清掃

- ・庭の雑草取りは毎日行い、計画的に場所を決め清潔さを保つ。
- ・主屋・建物は毎日清掃。
- ・敷地内を毎日見回り・点検する。
- ・植物は四季折々の楽しめるものを植栽し、日々花が咲いている場を作っている。

みその公園(文化体験施設に限る。) 令和5年度事業計画書

(事業計画書様式5)

無料事業実施計画一覧(自主事業含む)

事業名	内容(募集人数等)	新規	実施時期	回数
花かご会	花かご会(筍お土産つき)	○	4月	1
たねだんご	たねだんご作成	○	6月・10月	1
防災を知ろう!	AED体験会(20名)@100円	○	9月	1

有料事業実施計画一覧(自主事業含む)

※自主事業のうち、寄付等により減額となる場合は、最終的な予算額を()で記載する。

事業名	内容(募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施時期	回数	自主事業予算額	
					自主事業費(円)	自主事業収入(円)
稲作五郎兵衛稲作	田植えから収穫までの体験活動全8回。事前申込制50名、大人と小学生2名以上の参加。参加費1人3,000円		6月～12月	8	300,000	150,000
花かご会	花かご作成(筍お土産付き)30人(2部制@1000円)	○	4月	1	30,000	30,000
子どもまつり・親子そば打ち体験	親子そば打ち体験(親子ペア20組@1000円) 子供用バードコール作成@100円		5月	1	40,000	23,000
たねだんご	たねだんご作成30人(2部制@500円)	○	6月	1	10,000	15,000
七夕まつり	七夕飾り短冊記入見学自由 折り紙教室(@100円)		7月	1	20,000	10,000
防災を知ろう!	AED体験会(20名)@100円	○	8月	1	10,000	2,000
お月見・竹とうろうまつり	竹の間伐材を利用した竹とうろう お月見セット@250円×100セット		9月	1	50,000	25,000
たねだんご	たねだんご作成30人(2部制@500円)		10月	1	10,000	15,000
横溝屋敷で新そばを味わいませんか	新そば試食会 50人@500円		11月	1	30,000	25,000
収穫祭	お餅つき体験、餅試食会 餅つき10名@100円 餅1パック200円		10月	1	150,000	15,000

みその公園(文化体験施設に限る。) 令和5年度事業計画書

七草を知ろう!	七草の歌や七草を知る 甘酒1杯100円		1月	1	10,000	5,000
豆まき	豆まきの会 年男・年女5名@1000円 豆・お菓子・野菜などを年男・年女で撒く		2月	1	20,000	5,000
ひなまつり	江戸時代からのひな人形展示・音楽鑑賞 草だんご販売@300円×100パック		3月	1	20,000	30,000
合計					700,000	350,000

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務	内容	委託会社	年回数	実施月	備考
警備委託	みその公園内建物・ 敷地・警備委託 防犯カメラ4カ所	京浜警備株式会 社	通年	通年	

みその公園(文化体験施設に限る。) 令和5年度事業計画書

(事業計画書様式7)

収支予算書 (指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	15,291,259					
利用料金収入	0					
自主事業収入	350,000					自主事業参加費
雑入	100,000					寄付金
その他雑入	150,000					
収入合計 (a)	15,891,259					

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	9,200,000					
給与・賃金	8,400,000					職員・アルバイトスタッフ賃金
社会保険料						
通勤手当	200,000					
福利厚生費	200,000					ハマフレンド等
勤労者福祉共済掛金						
退職給付引当金繰入額	400,000					職員・アルバイトスタッフ用
事務費	2,491,259					
旅費	100,000					
消耗品費	900,000					コピー用紙・材料費他
会議賄い費	100,000					
印刷製本費	0					
通信運搬費	300,000					インターネット・ケーブルTV
使用料及び賃借料						
(横浜市への支払い分)						
(その他)						
備品購入費	100,000					
保険料	500,000					火災保険・物損保険
振込手数料	20,000					
リース料	150,000					コピー機リース代
その他事務費	220,000					経理代行・労務顧問料
雑費	101,259					
自主事業費	700,000					
管理費	2,400,000					
光熱水費合計						※横浜市負担
光熱水費 (電気)						※横浜市負担
光熱水費 (ガス)						※横浜市負担
光熱水費 (水道)						※横浜市負担
光熱水費 (下水道)						※横浜市負担
清掃費	0					
修繕費	100,000					
機械警備費	1,200,000					
公園及び公園施設設備保全費						
施設 (建物)・設備保守	200,000					
園地管理費	900,000					
その他保全費	0					
公租公課	1,100,000					
公租公課 (事業所税)	100,000					

みその公園(文化体験施設に限る。) 令和5年度事業計画書

公租公課 (消費税)	900,000					
その他公租公課	100,000					
事務経費 (本部分)						
雑費	100,000					
支出合計 (b)	15,891,259					
差引 (a-b)	0					

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)						
設置管理許可支出合計 (d)						
差引 (c-d)						

今年度の収支計画	
----------	--

(事業計画書様式8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営1 (様式2:達成目標、 運営業務の実施方針、 個別課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート 2回 ・暑さ対策・温度計利用 ・トレッサ横浜とのイベントを例年より増やしたい。
業務運営2 (様式2:管理運営体 制、人員の配置と研修 計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りの人員配置をし、不審者対策のため予定より多くなることも予測される。 ・人権啓発・個人情報管理についてスタッフ・協力者と6月頃に研修。
業務運営3 (様式3:利用者サー ビスの向上・利用促進 策)	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回管理委員会実施 ・雛飾り・五月人形・鯉のぼり・七夕飾り・十五夜/十三夜飾り等行う。 ・文化財を守る防災訓練 ・自主事業10提案 ・新規事業1提案
業務運営4 (様式3:広報・プロ モーションの取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、フェイスブック毎月更新 ・地元テレビ局へ2回無料配信 ・広報よこはまへイベント掲載 ・パド・タウンニュースへイベント無料掲載
業務運営5 (様式3:市民協働、 市民主体の活動の支 援、地域人材育成)	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴見川ネットワーキングとの連携で自然植物・生き物観察会(2回実施) ・地元農家の野菜紹介と、交流のある輪島との産物を通して地域へ紹介(1回実施)

<p>業務運営 6 (様式 3 : 市の施策への協力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ YES 協働パートナーの温暖化対策に協力。 ・ 市内中小企業優先発注 100% ・ 資源循環局の 3R に協力
<p>業務運営 7 (様式 4 : 文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴見川ネットワーク団体との連携 2 回 ・ 親と子の絆イベント 2 回
<p>業務運営 8 (様式 4 : 施設 (建物等)、設備の維持管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物・設備については自主点検記録表は毎日つける。 ・ 日報は毎日 ・ 障子 108 枚は 1 年の目標を決め、張り替える。 ・ 庭の竹垣の老朽化を改修。
<p>業務運営 9 (様式 4 : 樹木、植栽等の管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庭・中庭の植物毎日水やり。夏は朝夕 2 回行う。 ・ 市民からの声を聞き、相応しい植物を植え楽しんでいただく為の植栽(彼岸花・水仙・秋桜が人気) ・ 歴史的価値のある植物、木の維持管理をする。 ・ 様々な木に名札付けをする。
<p>業務運営 10 (様式 4 : 巡視・清掃)</p>	<p>主屋・蔵・トイレ三カ所は毎日清掃。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策のための消毒も行う。 ・ 毎日主屋や屋敷周りの点検。 ・ 屋敷周りのゴミ拾い。(田んぼ周りの公道のタバコの吸い殻が多い)

<p>収支 (様式7: 収入確保、 経費節減策)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 寄付金を増やしたいのでイベント時に寄付金箱の設置をする。・ ルート回収のゴミの削減。落葉は竹林へ。・ 近隣から堆肥を無料で分けてもらえるので肥料を買わずに堆肥で対応する。
--------------------------------------	---